

ヤマハ株式会社
2015年3月期
第2四半期決算説明会

2014年 11月 4日



決算概要

- 対前年同期、対前回予想共に増収増益
- 当期利益は、前年同期に有価証券売却益があったこと等で対前年同期減益

- 楽器事業は、北米市場が好調に推移
- 音響機器事業は、AV機器苦戦継続も、PA機器は新商品効果で欧州市場堅調
- 半導体事業は、厳しさ増す
- その他の事業は、概ね想定通りで推移

2015/3期 上期業績概要



(億円)

	14/3	15/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,977	2,064	+4.4%	2,045	+0.9%
営業利益 (営業利益率)	137 (6.9%)	151 (7.3%)	+10.3%	145 (7.1%)	+4.0%
経常利益 (経常利益率)	135 (6.8%)	151 (7.3%)	+11.8%	140 (6.8%)	+7.6%
当期利益 (当期利益率)	125 (6.3%)	108 (5.2%)	▲13.7%	100 (4.9%)	+7.9%

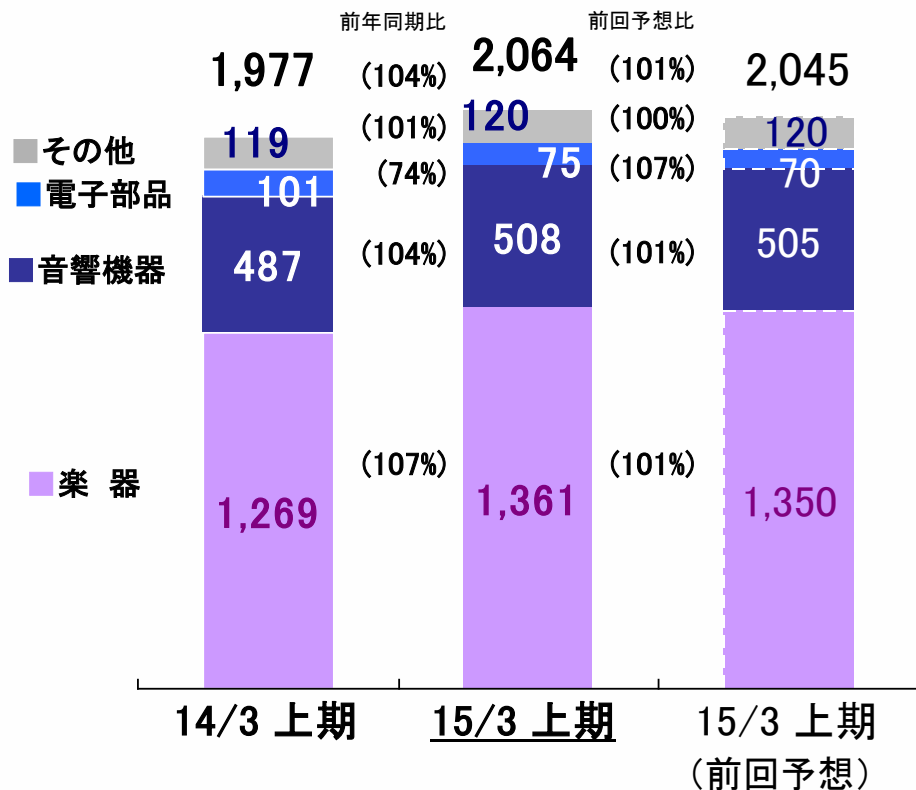
為替レート (円)

売上高	US\$	99	103	101
	EUR	130	139	138
利益	US\$	98	103	101
	EUR	125	140	137

2015/3期 上期事業別業績



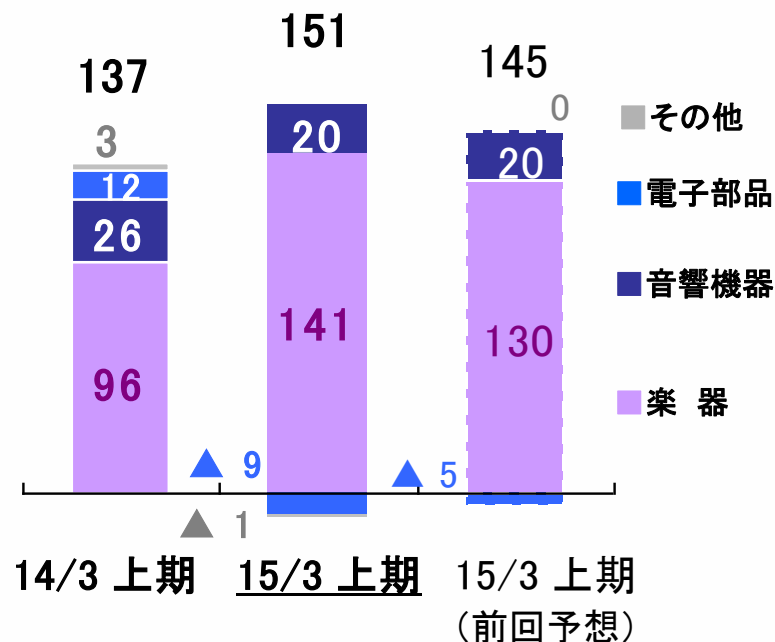
売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+51	楽器 +33 音響機器 +17
前回予想比較	+20	楽器 +14 音響機器 +6

営業利益

(億円)

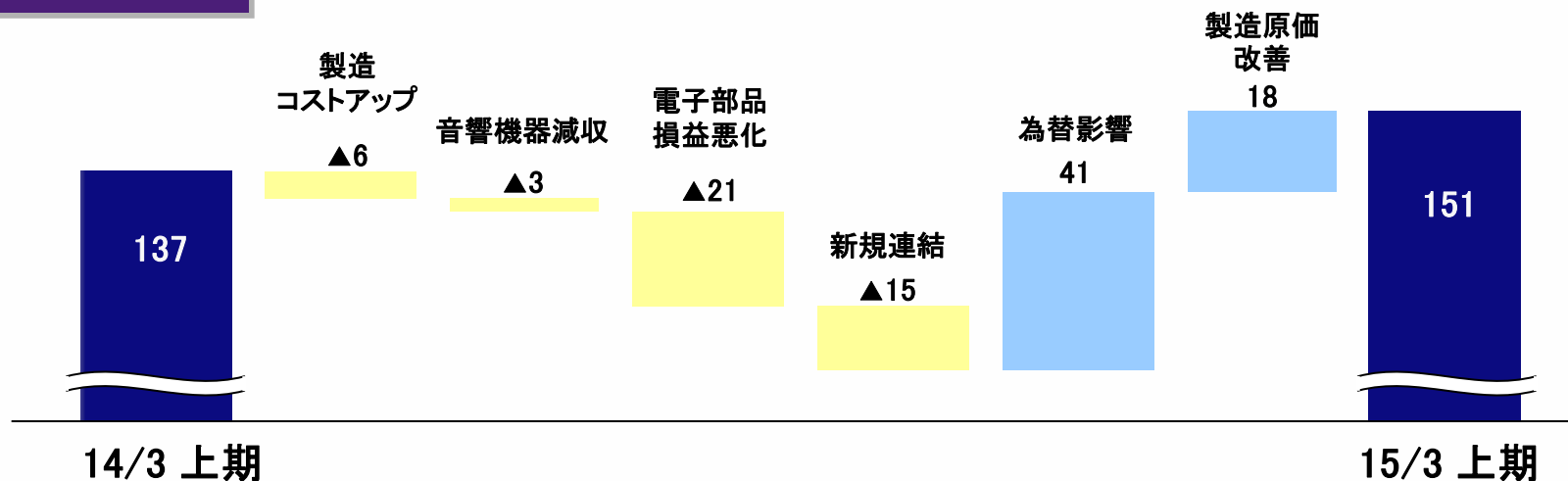


為替影響額 (億円)		
前期比較	+40	楽器 +30 音響機器 +11
前回予想比較	+10	楽器 +7 音響機器 +3

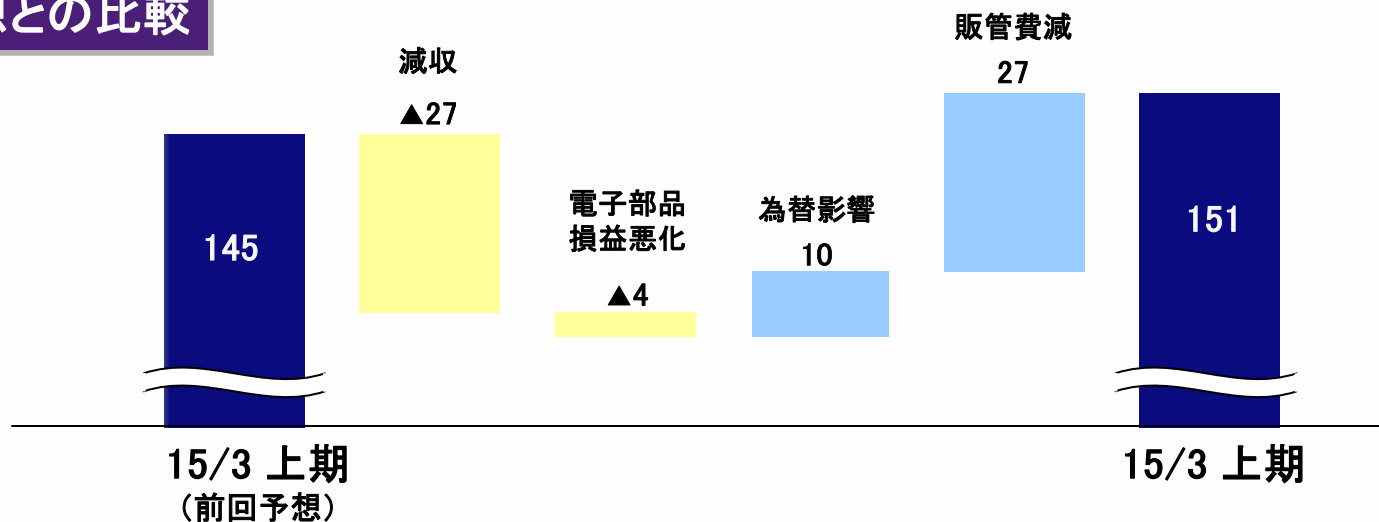
2015/3期 上期営業利益増減要因

(億円)

前期との比較



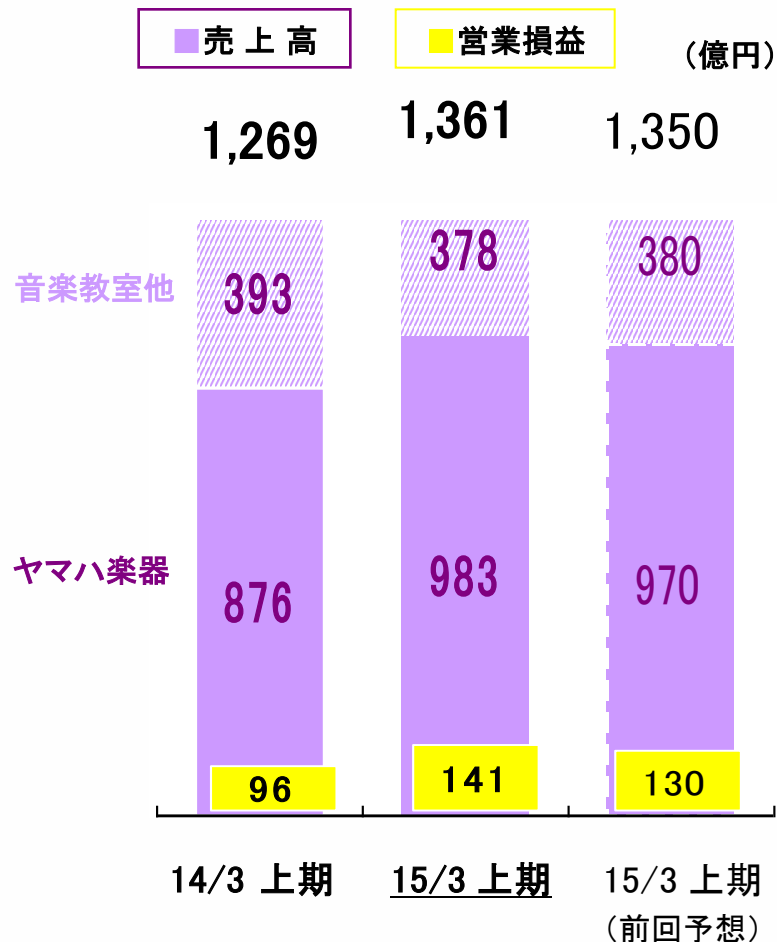
前回予想との比較



楽器事業 上期の状況



上期



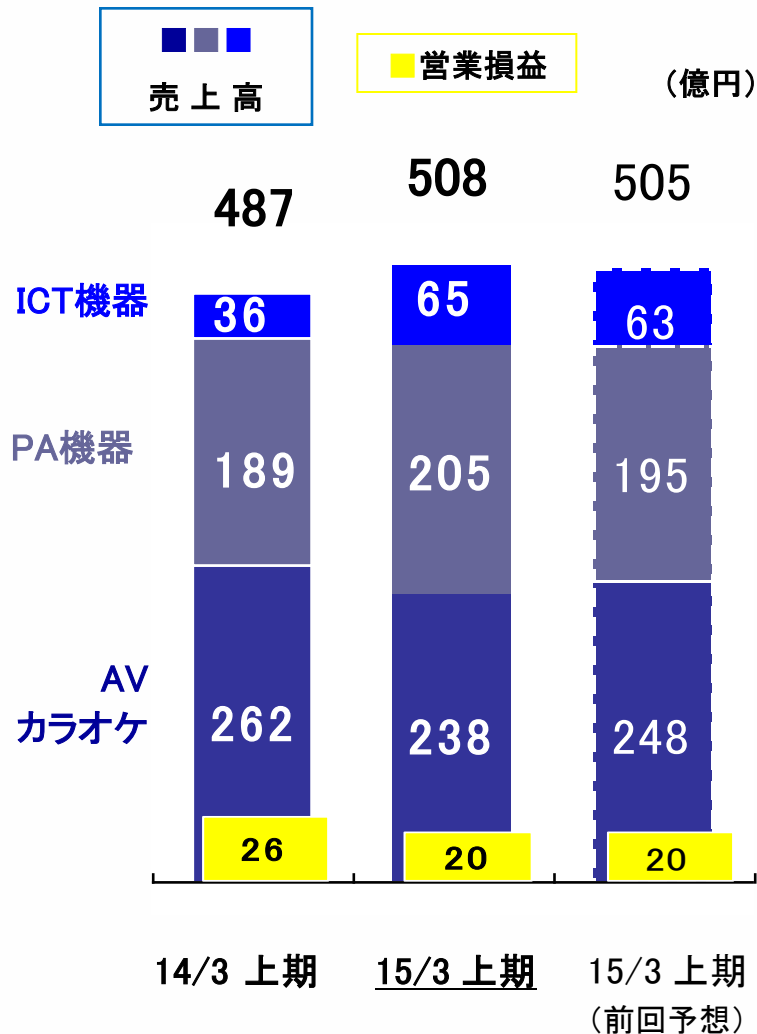
上期の状況

- ・対前年同期、前回予想共に増収増益
- ・商品別では電子楽器が二桁成長で好調
- ・北米市場は、Q1からの好調な販売を持続
- ・欧州は独中心に不透明感継続
- ・中国は、Q1に比べ減速も、想定通りで推移

音響機器事業 上期の状況



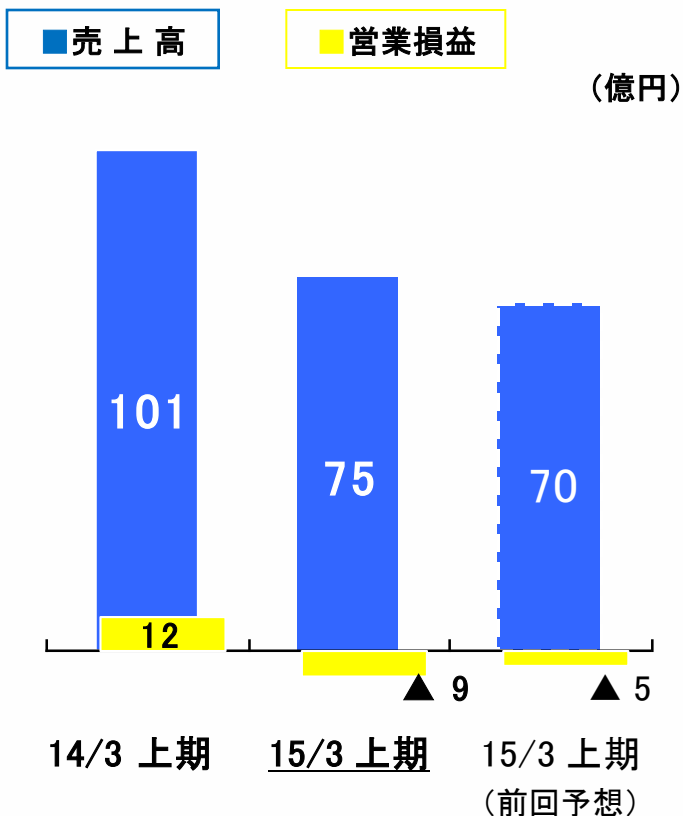
上期



上期の状況

- ・対前年同期増収減益、ほぼ前回予想通り
- ・AV機器が、全市場で苦戦
- ・PA機器はミキサー新商品等で回復基調
- ・ルーターは、納入先在庫調整により減速
- ・カラオケも、対前年同期減収

上期



上期の状況

- ・対前年同期大幅な減収減益
- ・対前回予想では増収も商品構成変化等で減益
- ・アミューズメント市場の低迷から脱出できず
- ・スマートフォン向けデバイスが
納入先販売不振等で減収

■ファブレスに転換

- ・半導体生産子会社のヤマハ鹿児島セミコンダクタ株式会社譲渡を決定、事業のファブレス化を推進

■事業の今後

- ・事業のファブレス化により機動力を高めるとともに商品力の向上、営業力の強化を進める
- ・サウンド領域の新商品投入を中心に売上の拡大を図る

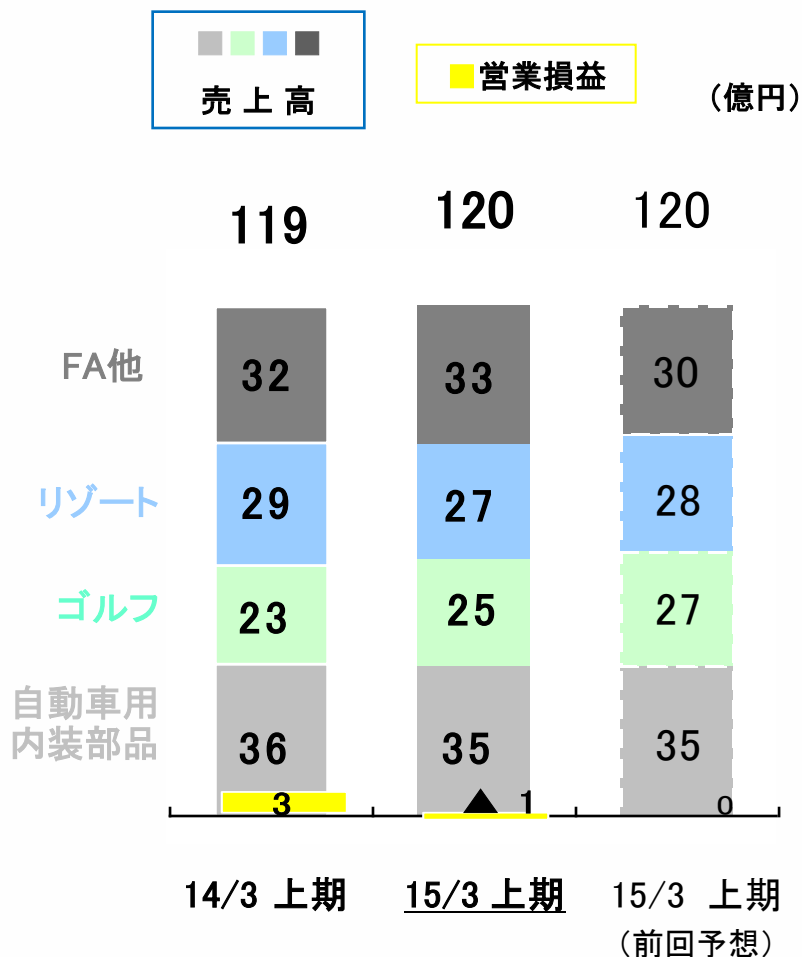
■業績に与える影響

- ・今期通期連結業績予想に18億円の特別損失を計上

その他の事業 上期の状況



上期



上期の状況

- ・売上高は前回予想並みも営業損失
- ・自動車用内装部品は想定通り
- ・ゴルフは対前年同期増収
- ・リゾートは対前期減収
- ・FAは、受注回復でQ1の状況から回復

下期の見通し

- 楽器の市況見通しは、全体として大きな変更なし
- 音響機器は、AV機器厳しさ継続も、PA機器新商品の貢献を見込む
- 電子部品は、厳しい状況が継続
- 為替レートは、下期US \$を100円から105円に変更

通期の業績見込み

- 上期業績は想定を若干上回り推移したものの、電子部品の厳しい状況等を踏まえ、売上高、営業利益 経常利益は前回予想を据え置く
- 電子部品事業の構造改革費用として18億円を計上したこと等で、当期利益を210億円から190億円に下方修正

2015/3期 通期業績予想



(億円)

	14/3	15/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	4,103	4,300	+4.8%	4,300	-
営業利益 (営業利益率)	260 (6.3%)	290 (6.7%)	+11.6%	290 (6.7%)	-
経常利益 (経常利益率)	261 (6.4%)	280 (6.5%)	+7.1%	280 (6.5%)	-
当期利益 (当期利益率)	229 (5.6%)	190 (4.4%)	▲17.0%	210 (4.9%)	▲9.5%

為替レート (円)

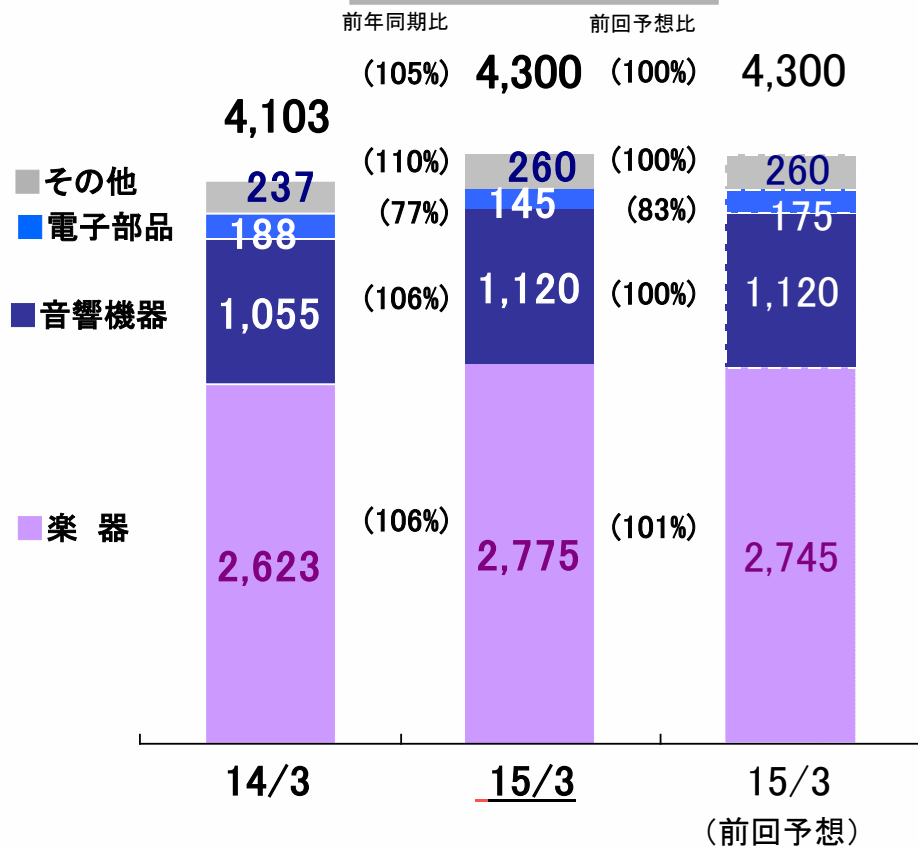
売上高	US\$	100	104	101
	EUR	134	137	136
利益	US\$	100	104	101
	EUR	129	138	136

*15/3下期為替レート見込は、売上・利益ともにUS\$:105円、EUR:135円

2015/3期 通期事業別業績予想



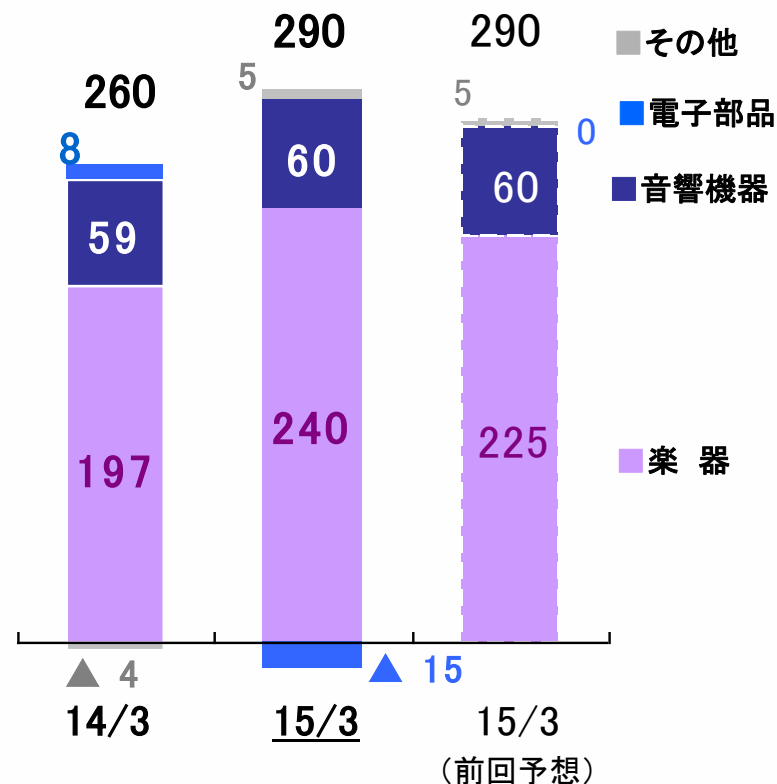
売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+48	楽器 +31 音響機器 +16 電子部品 +1
前回予想比較	+43	楽器 +28 音響機器 +15 電子部品 +1

営業利益

(億円)

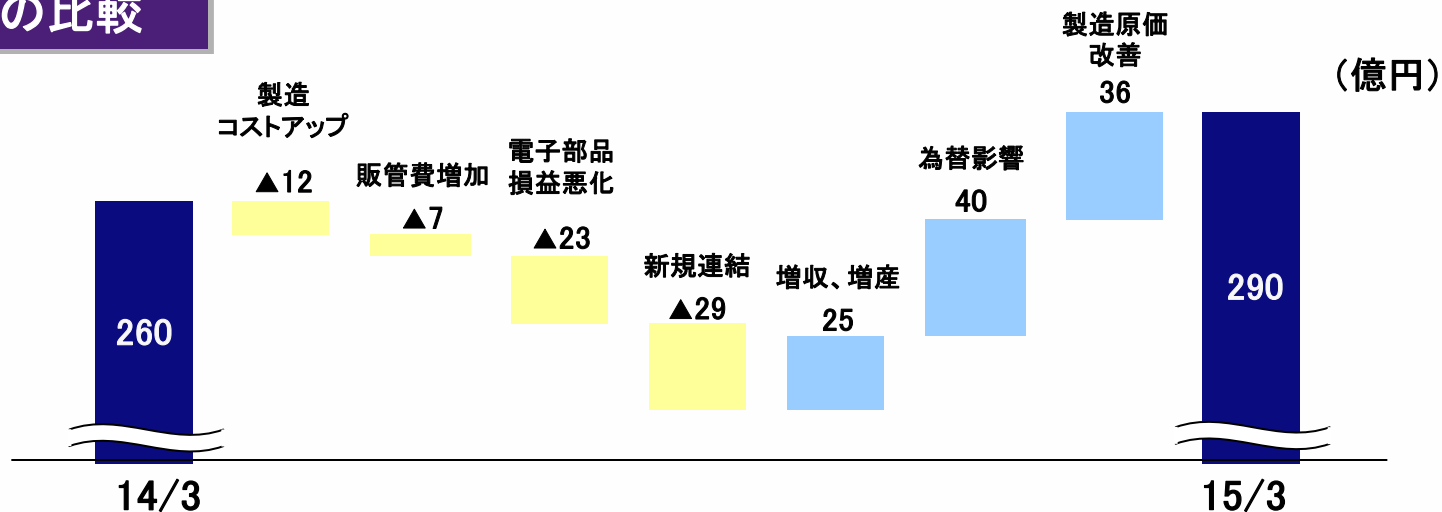


為替影響額 (億円)		
前期比較	+40	楽器 +30 音響機器 +10
前回予想比較	+10	楽器 +7 音響機器 +3

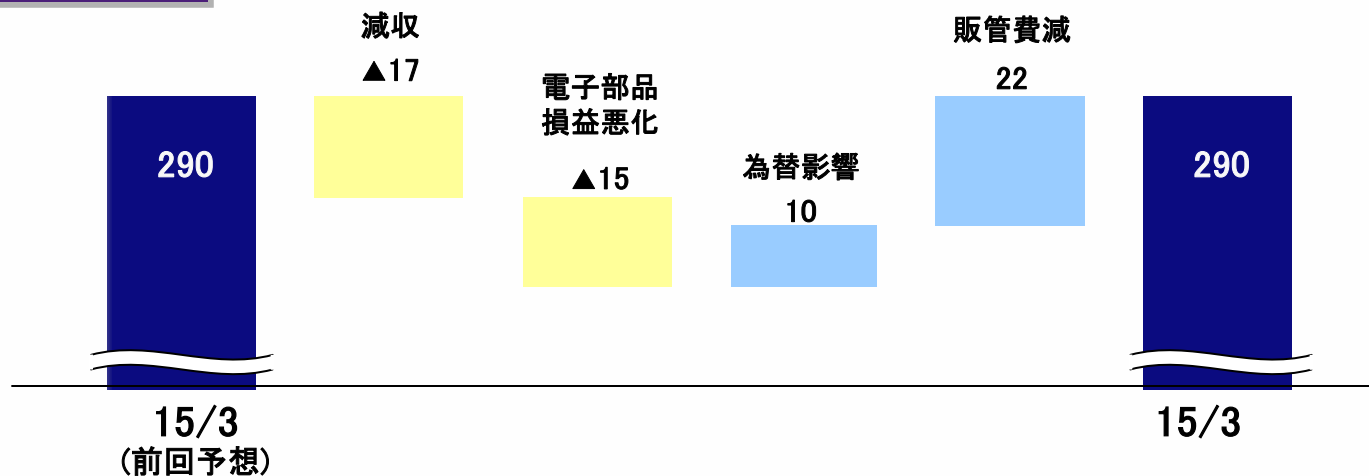
2015/3期 通期営業利益予想増減要因



前期との比較



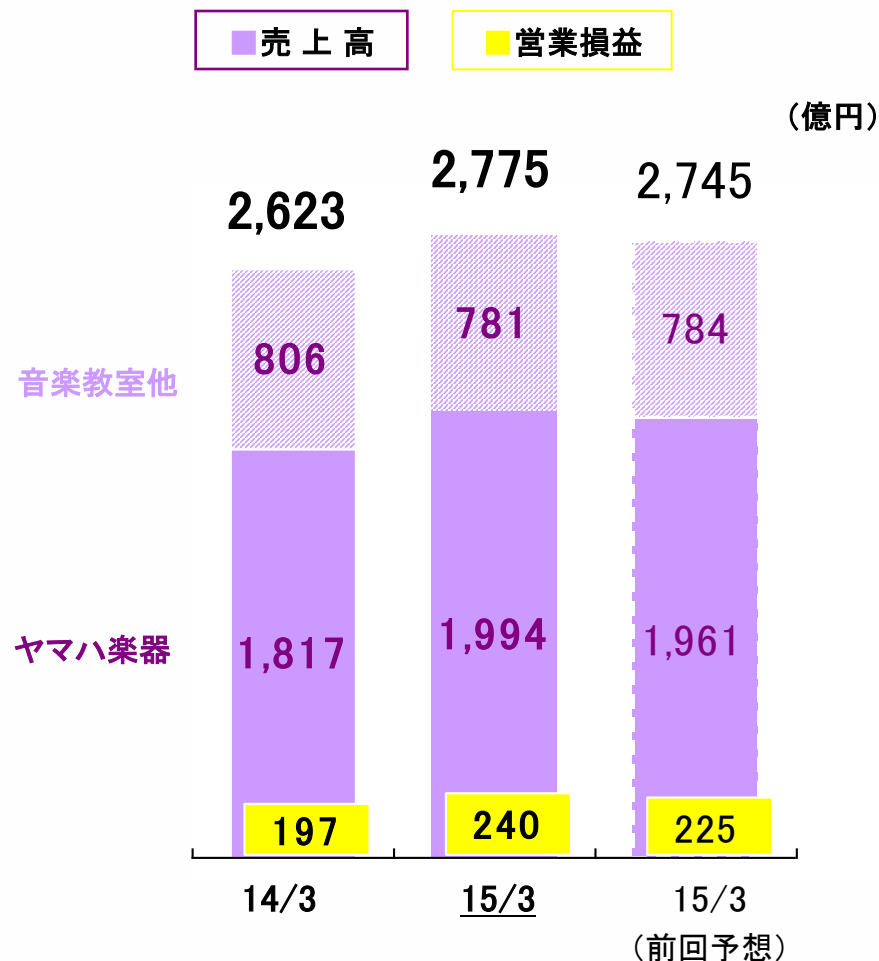
前回予想との比較



通期

通期予想

- ・対前年、対前回予想で増収増益を予想
- ・北米、欧州、国内市場は上期状況が概ね継続
- ・中国、その他市場は、緩やかな回復想定
- ・前期に生産影響のあったギターを中心に弦打楽器の回復

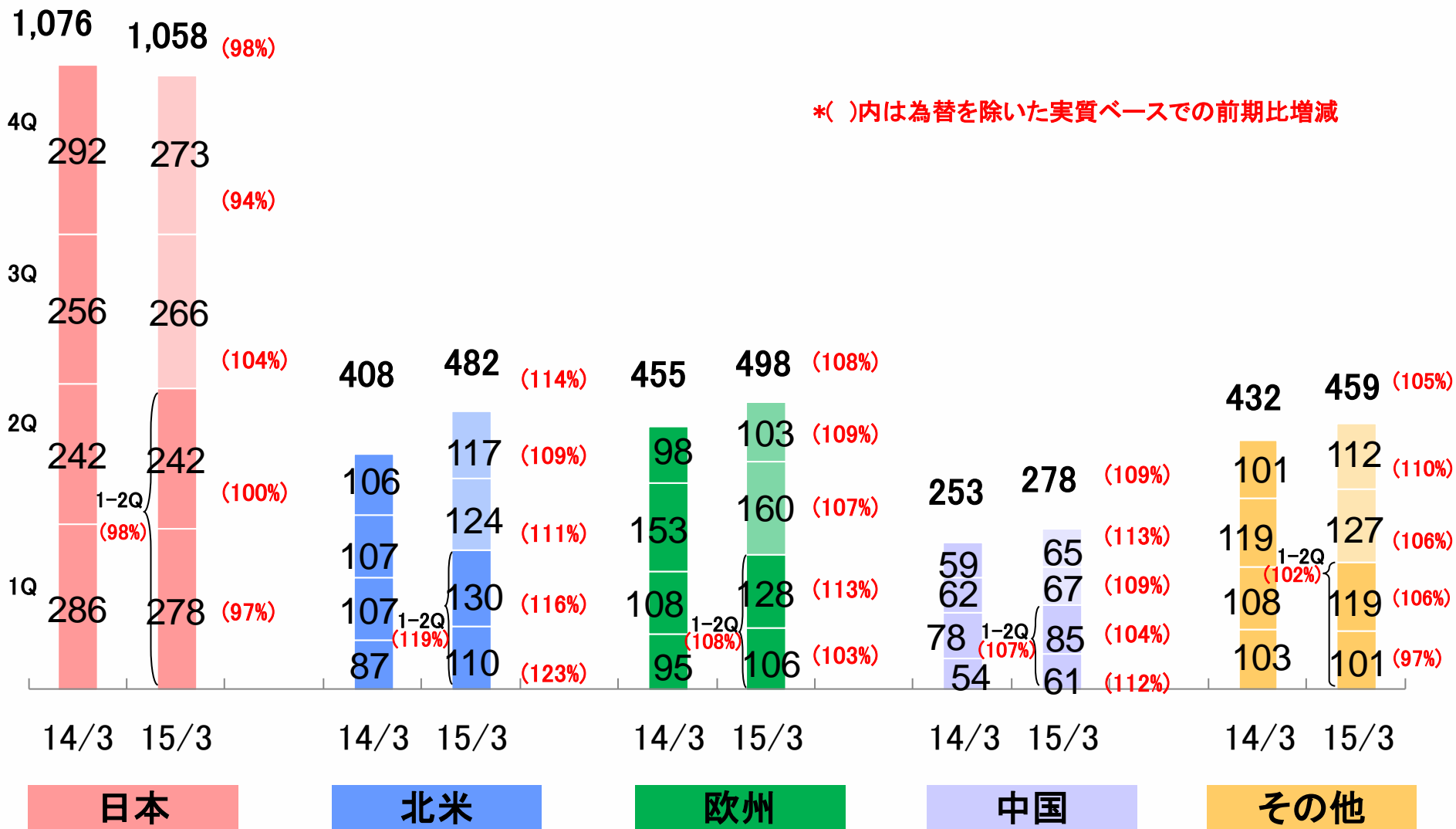


楽器事業(地域別の販売状況)



(億円)

* ()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



通期

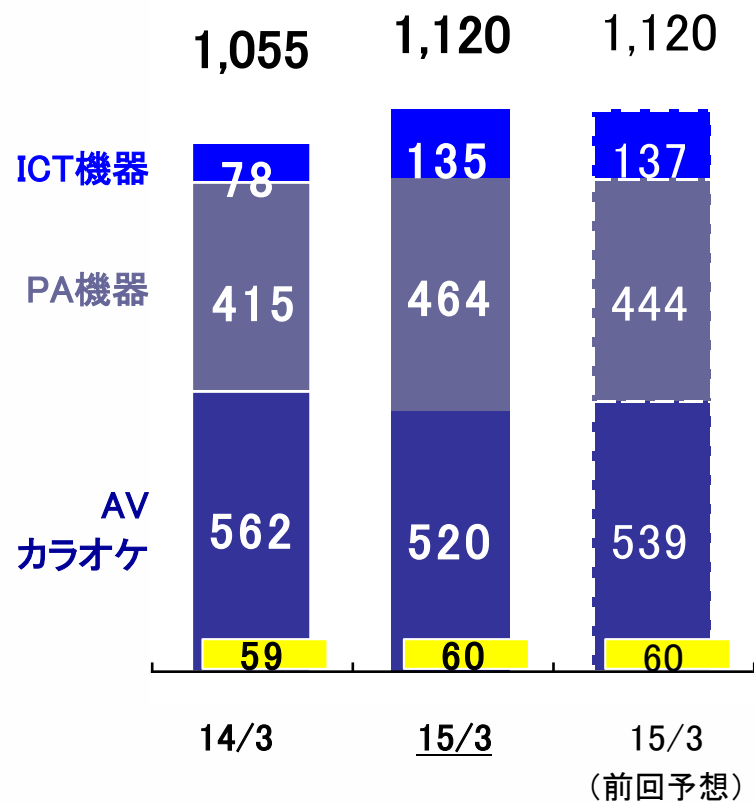
■ ■ ■
売上高

■ 営業損益

(億円)

通期予想

- ・前回予想を据え置き
- ・AV機器は厳しさ継続も、PA機器が設備音響機器、設備工事等で増収見込む
- ・ルーター、カラオケは前回予想並みで推移

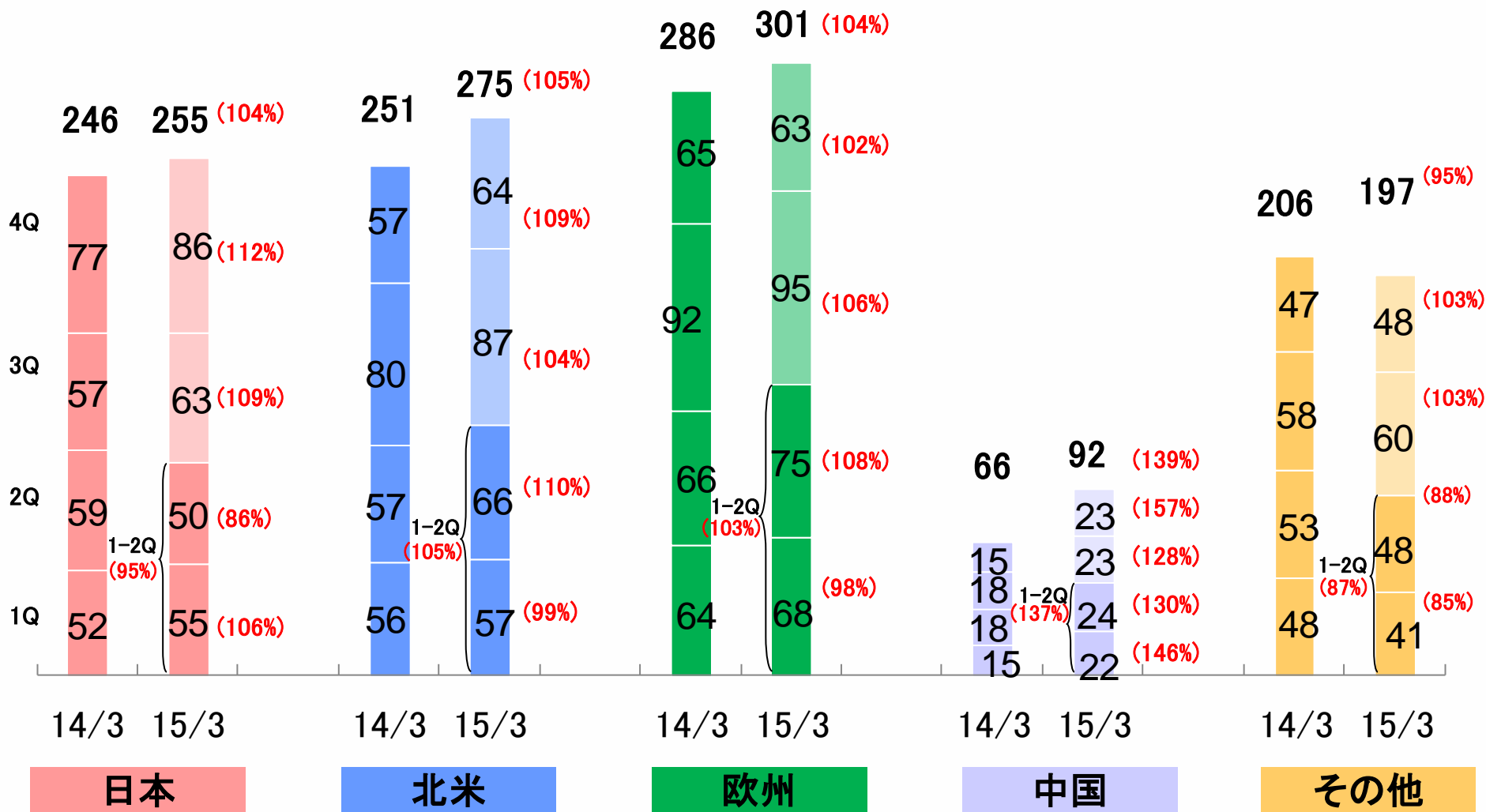


音響機器事業(地域別の販売状況)



(億円)

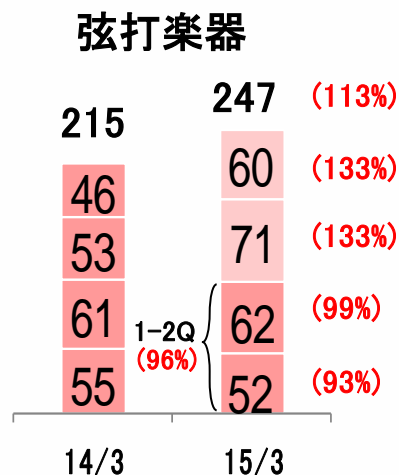
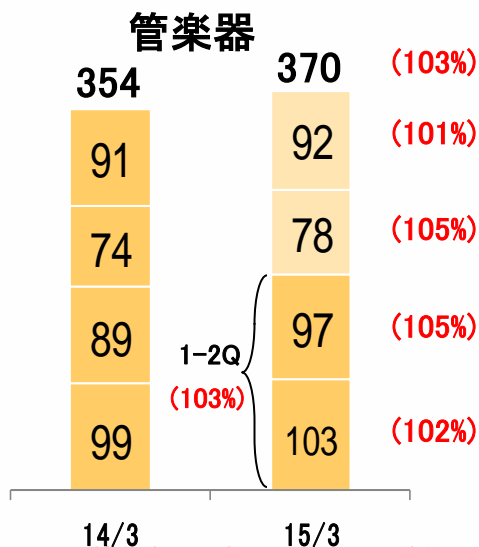
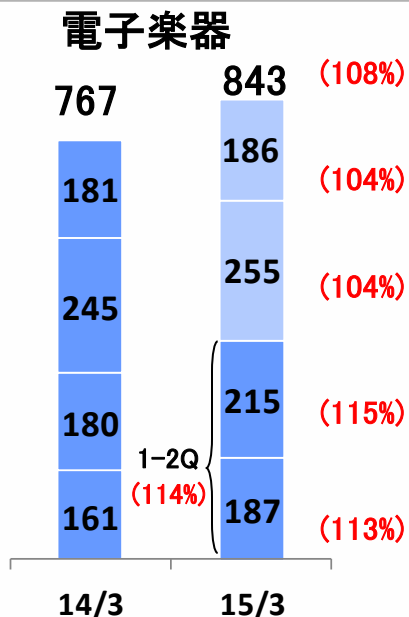
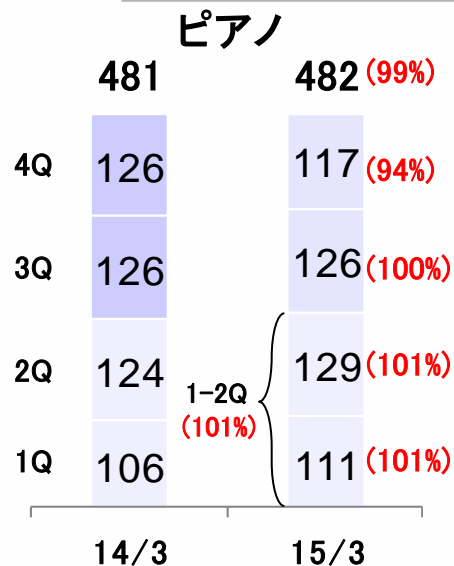
*()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



楽器・音響機器事業(ヤマハ商品別販売状況)



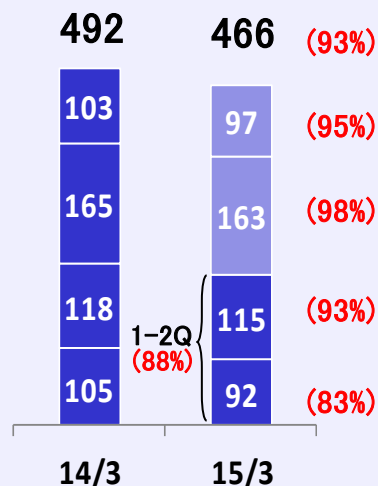
楽器事業



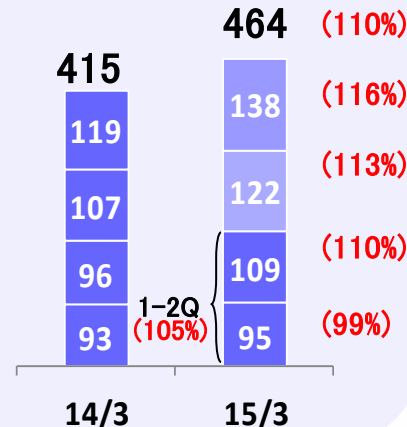
音響機器事業

(億円)

AV機器(パーツ等含まず)



PA機器



* ()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

通期

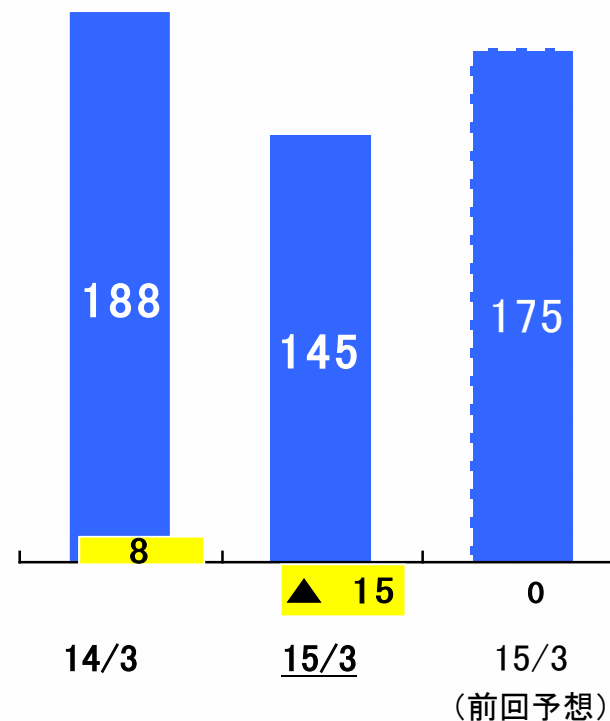
■ 売上高

■ 営業損益

(億円)

通期予想

- ・前回予想から減収減益を想定
- ・大幅な減収に伴い営業損失を想定
- ・アミューズメント市場回復が更に遅延
- ・スマートフォン向け地磁気センサー、
コーデックも納入先販売の厳しさを想定

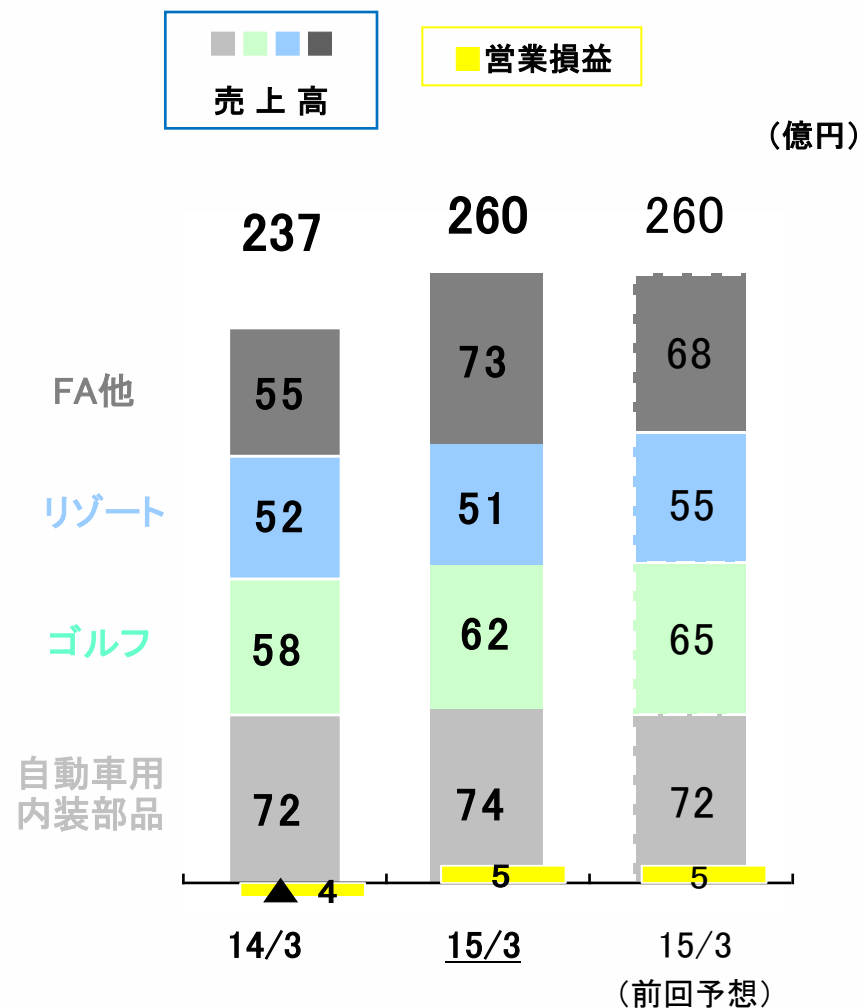


その他の事業（予想）

通期

通期予想

- ・対前期増収増益、前回予想を据え置き
- ・自動車用内装部品、ゴルフは対前期増収
- ・リゾートは、対前期減収
- ・FA機器も、対前期増収



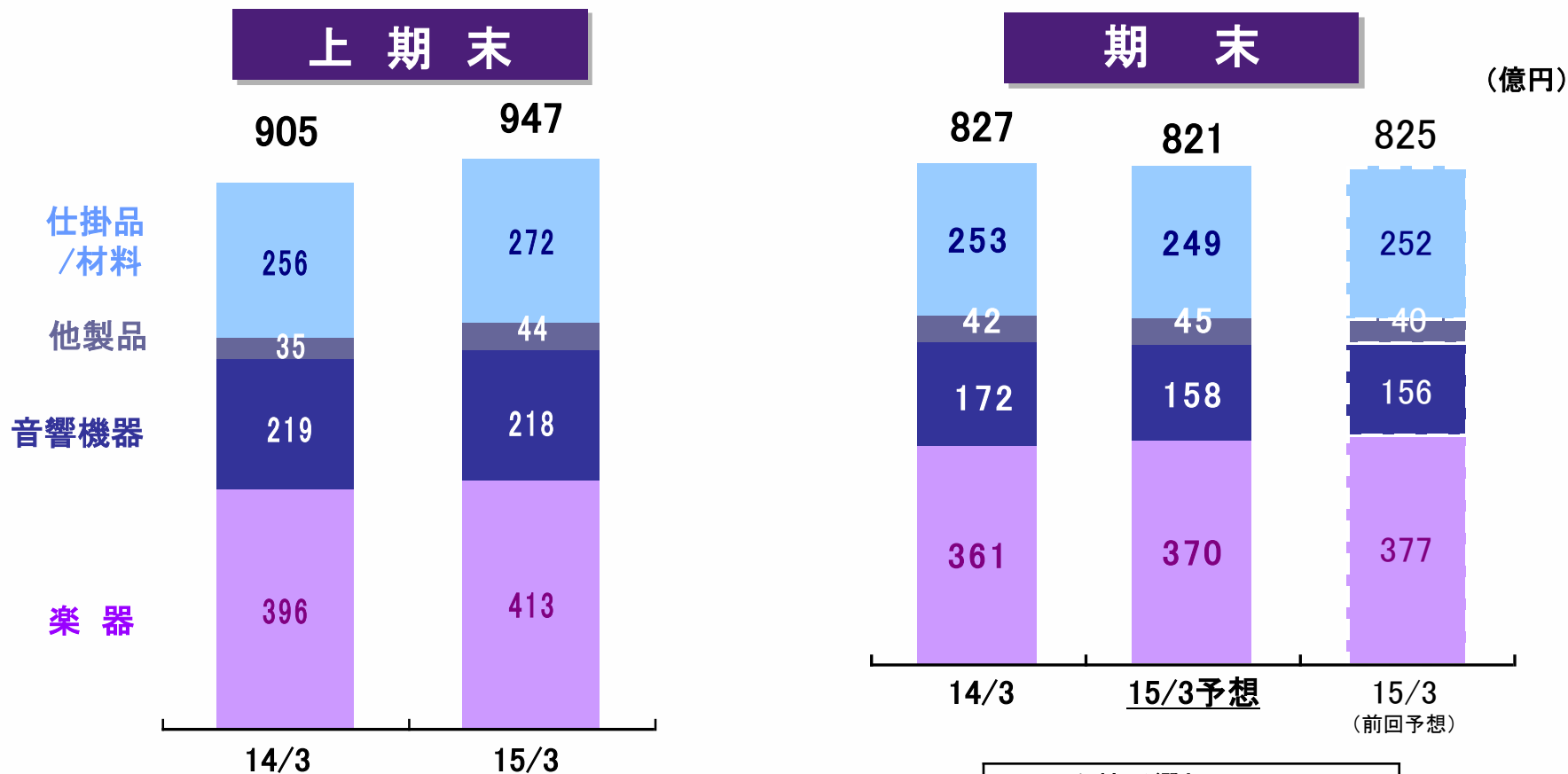
棚卸資産



▶ 上期末総在庫は、947億円で対前年同期42億円の増加。

内為替影響は56億円で実質減少

▶ 期末は、前期末、前回予想から減少の821億円を予想



為替影響額 (億円)	
前期比較	+56

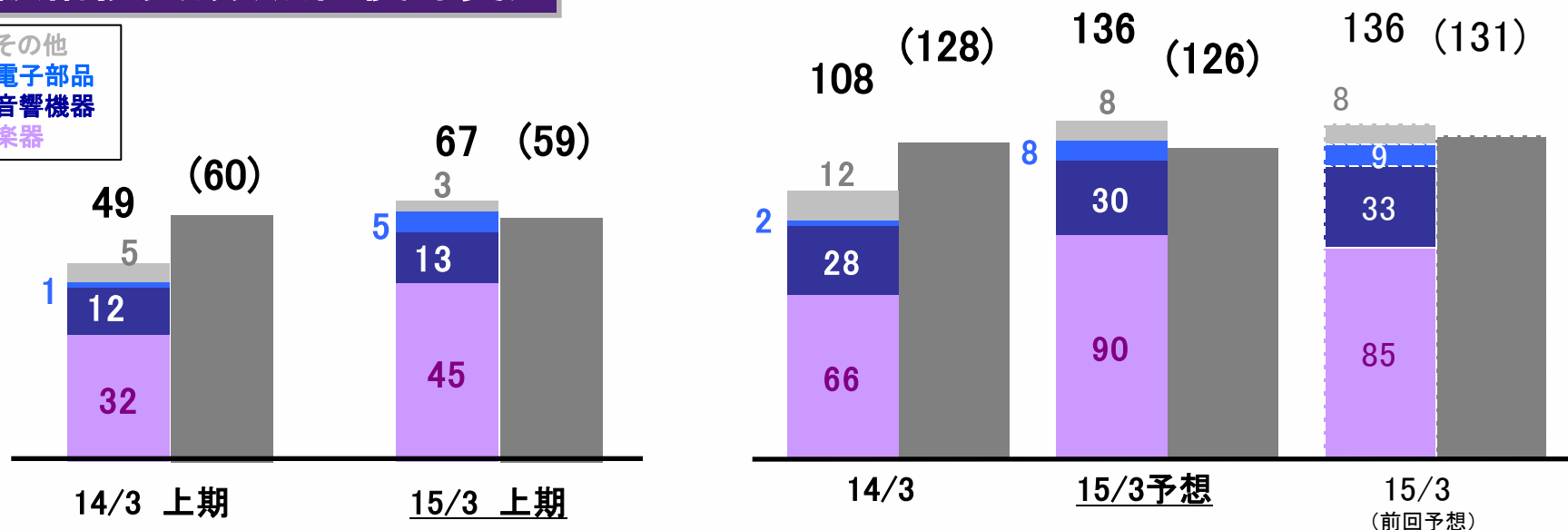
為替影響額 (億円)	
前期比較	▲8
前回予想比較	+10

設備投資額・減価償却費/研究開発費

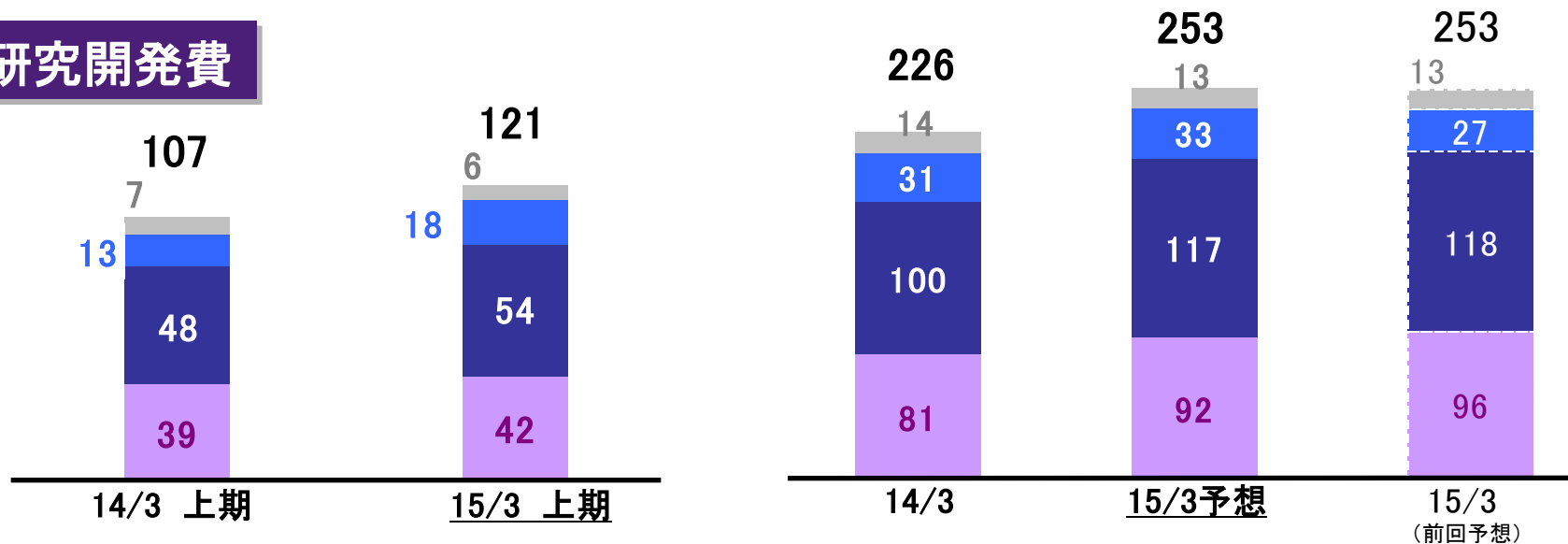


設備投資額(減価償却費)

(億円)



研究開発費



貸借対照表



(億円)

	上期末			期末予想		
	13/9末	14/9末	増減	14/3末	15/3末	増減
現預金	627	723	96	606	762	156
売上債権	566	606	41	567	573	6
棚卸資産	905	947	42	827	821	▲6
他流動資産	131	161	30	145	145	0
固定資産	2,014	2,456	442	2,244	2,414	170
資産計	4,243	4,893	651	4,389	4,715	326
仕入債務	221	253	32	216	224	8
借入金	201	217	16	88	87	▲1
他負債	1,334	1,403	68	1,337	1,374	37
純資産計	2,486	3,020	535	2,748	3,030	282
負債純資産計	4,243	4,893	651	4,389	4,715	326

付属資料

2015/3期 2Q業績概要



(億円)

	14/3	15/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,007	1,068	+6.1%	1,049	+1.8%
営業利益 (営業利益率)	75 (7.5%)	88 (8.3%)	+17.8%	83 (7.9%)	+7.1%
経常利益 (経常利益率)	72 (7.1%)	92 (8.6%)	+28.1%	81 (7.8%)	+13.0%
当期利益 (当期利益率)	67 (6.6%)	67 (6.3%)	+0.4%	59 (5.6%)	+13.3%

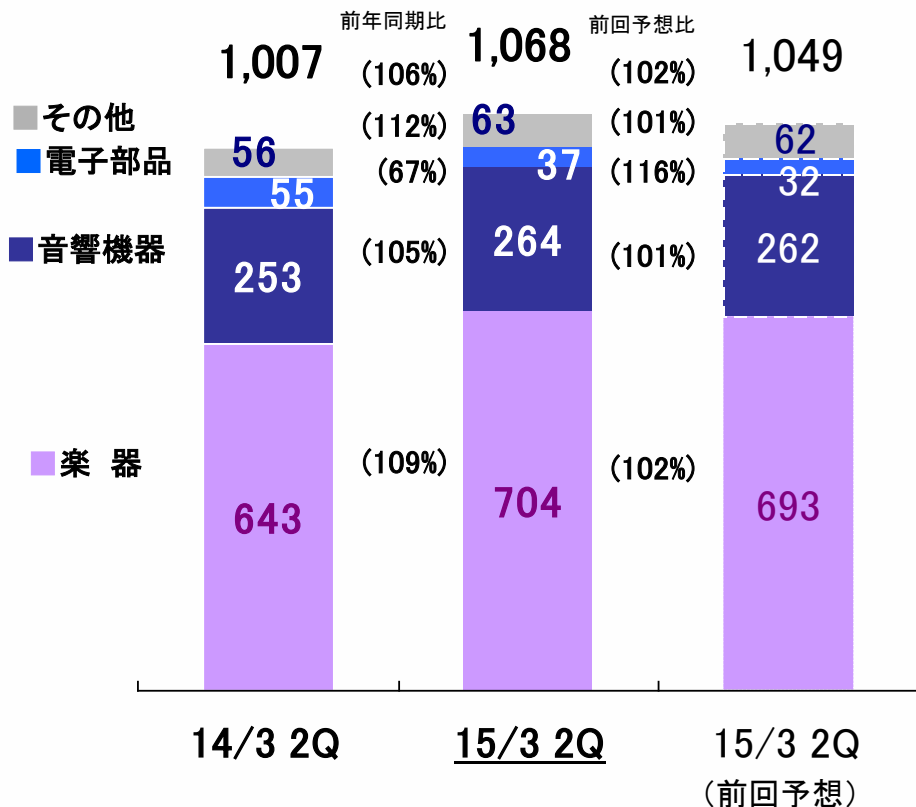
為替レート (円)

売上高	US\$	99	104	100
	EUR	131	138	135
利益	US\$	98	103	100
	EUR	129	140	135

2015/3期 2Q事業別業績

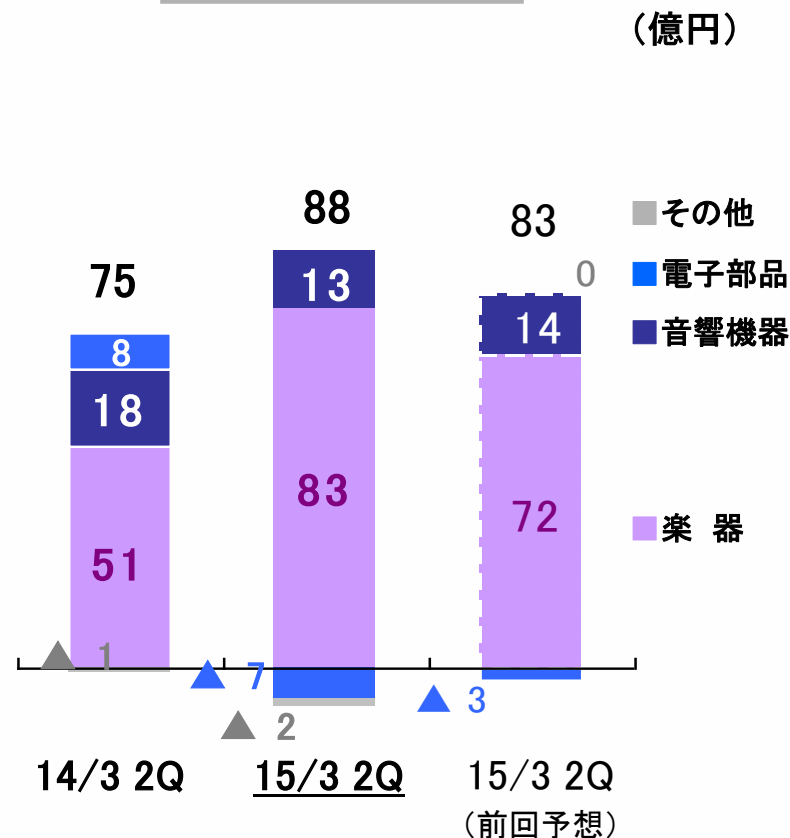


売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+30	楽器 +20 音響機器 +9
前回予想比較	+20	楽器 +14 音響機器 +6

営業利益



為替影響額 (億円)		
前期比較	+19	楽器 +14 音響機器 +5
前回予想比較	+10	楽器 +7 音響機器 +3

2015/3期 上期営業外損益、特別損益



(億円)	14/3 上期	15/3 上期	15/3 上期前回予想
営業外損益			
金融収支	9	11	9
その他	▲11	▲11	▲14
計	▲2	0	▲5
特別損益			
固定資産処分損益	0	▲1	▲1
その他	9	▲2	1
計	9	▲3	0
法人税他			
法人税等	34	41	40
法人税等調整額	▲17	▲3	▲2
少数株主利益	2	2	2
計	19	40	40

投資有価証券売却益
10

2015/3期 通期営業外損益、特別損益

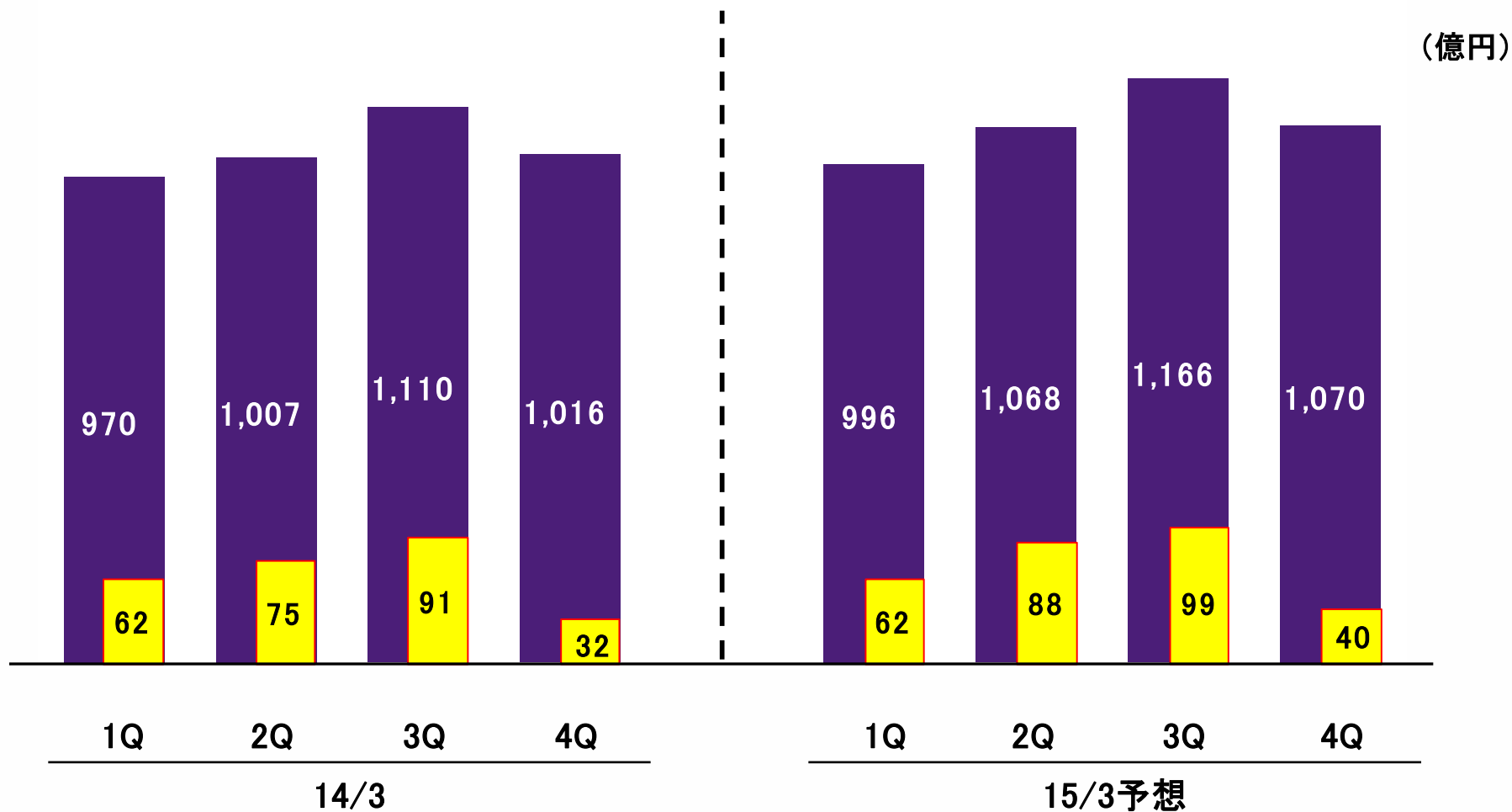


(億円)	14/3 通期	15/3 通期	15/3 通期前回予想
営業外損益			
金融収支	26	18	21
その他	▲25	▲28	▲31
計	1	▲10	▲10
特別損益			
固定資産処分損益	3	▲1	▲2
その他	▲6	▲19	2
計	▲3	▲20	0
法人税他			
法人税等	58	68	68
法人税等調整額	▲31	1	0
少数株主利益	2	1	2
計	29	70	70

投資有価証券売却益
10
構造改革費用
▲9
YMMI操業停止損失他
▲7

構造改革費用
▲18
その他特別損失
▲1

四半期別売上高／営業利益(全体)

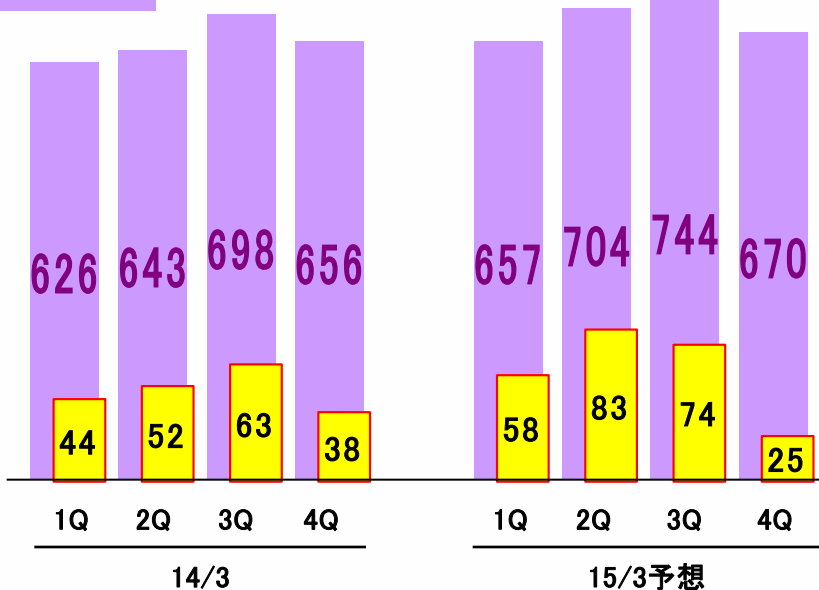


四半期別売上高／営業利益(セグメント別)

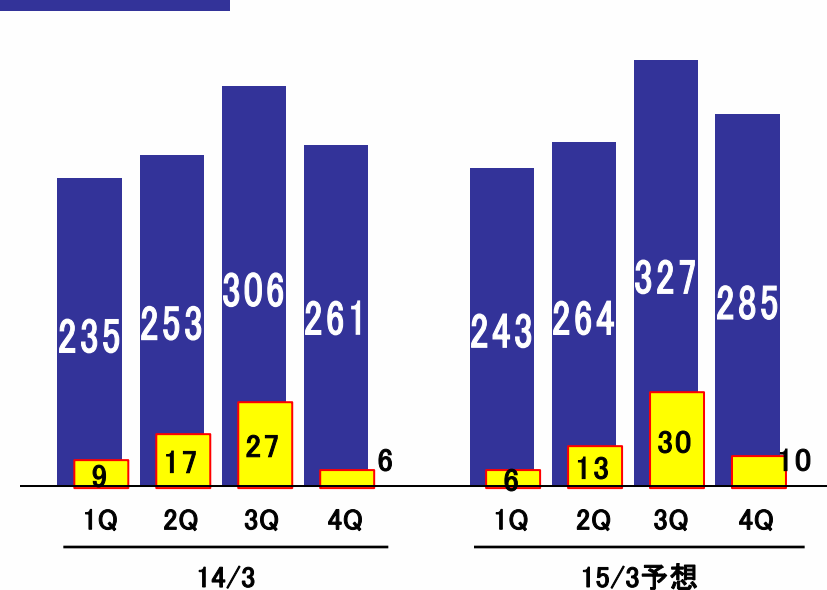


(億円)

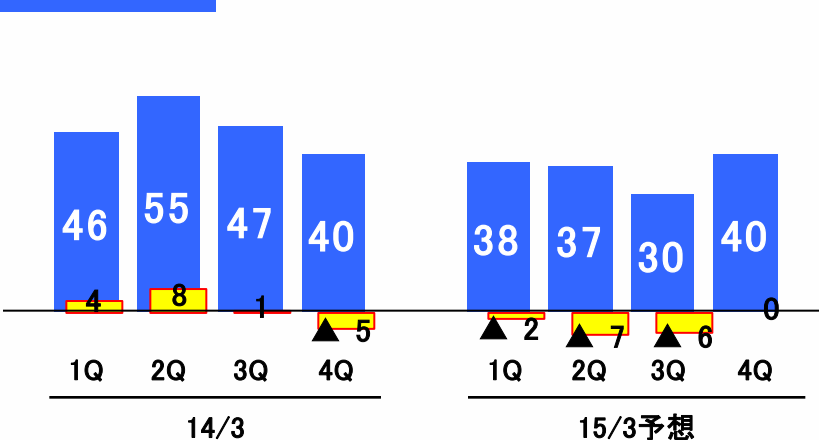
楽器



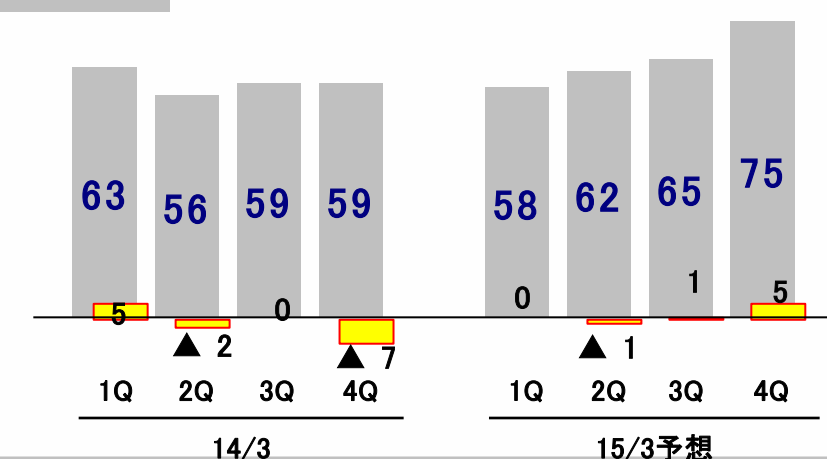
音響機器



電子部品



その他



2015/3期の主要商品



電子楽器の新たな進化が実現
最新技術の投入と新コンセプトユニットの開発
ヤマハ エレクトーン® 『STAGEA®』



ELS-02X プロフェッショナルモデル
1,580,000円 (税抜)

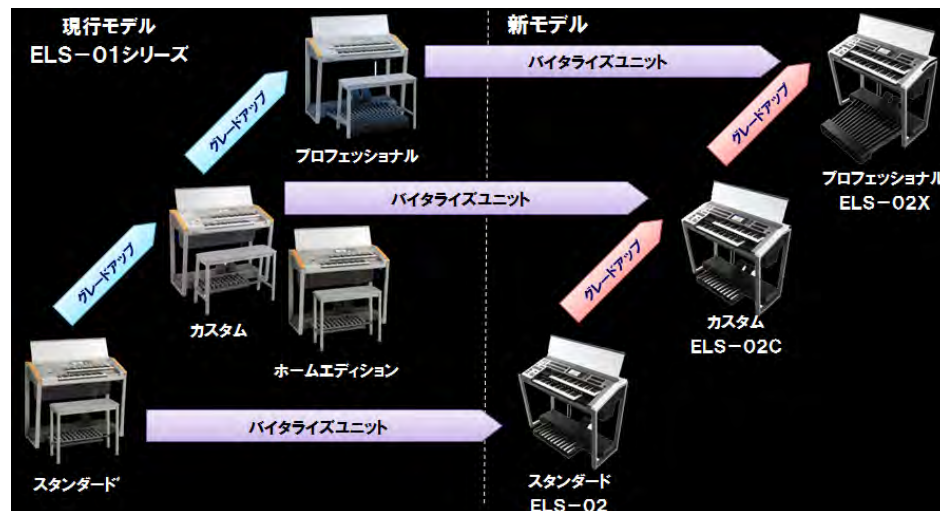
(2014年4月発売)



ELS-02C カスタムモデル
980,000円 (税抜)



ELS-02 スタンダードモデル
650,000円 (税抜)



現在使用中のELS-01シリーズにバイタライズユニットを取り付けることによって、新たに1台買い替えることなく、ELS-02シリーズとほぼ同等の性能を実現

2015/3期の主要商品



二つの「コンサートグランドピアノ音色」で、演奏の幅が広がる電子ピアノ
ヤマハ クラビノーバ『CLP』シリーズ



ヤマハ クラビノーバ『CLP-585PE』
黒鏡面艶出し
400,000円(税抜)



ヤマハ クラビノーバ『CLP-545WA』
ホワイトアッシュ調
215,000円(税抜)

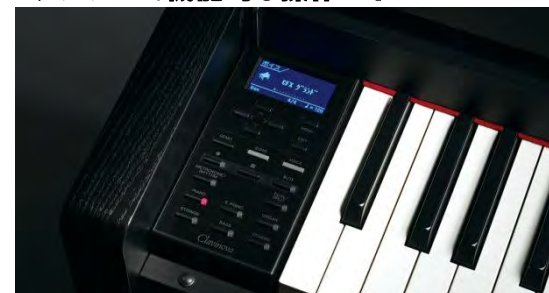
コンサートグランドピアノの音源を搭載



左: ヤマハ CFX 右: ベーゼンドルファー インペリアル



シンプルで機能的な操作パネル



(2014年5月から発売)

上位機種「CLシリーズ」の核となる要素を凝縮したオールインワンミキサー
ヤマハ デジタルミキシングコンソール 『QLシリーズ』



(2014年4月発売)

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。